

「那珂良しラジオ」で
鮎釣りに挑戦

那珂川、武茂川などで6月1日、太公望が待ち望んだ鮎釣りが解禁となりました。今年は放射能汚染の影響が懸念されましたが、5月中の調査で基準値を下回り、例年通りに解禁日を迎えられるました。

那珂川町を紹介するFM番組「那珂良しラジオ」でも解禁日の鮎釣りの模様を6月7日(木)に放送しました。鮎の友釣りに初挑戦したのはレポーターの奥津真理子さん。鮎釣りの「達人」の岡崎孝さん(谷田)の指導を受け、釣果の厳しい那珂川は避けて、武茂川下流でのチャレンジです。初めは鮎が小さくて苦戦しましたが、場所を馬頭高校水産科実習場付近に変えると次々と釣れ、30分ほどで5匹を釣り上げました。



馬頭東小学校・小川小学校で
「人権の花運動」

「人権の花」の贈呈式が、6月5日、馬頭東小学校と小川小学校で行われました。子ども達が協力して花を栽培することで、命の大切さや相手への思いやりの心を育み、人権に対する理解を深めてもらうことを目的としています。

人権擁護委員の高林和男さん、高田敬さん、長山宣弘さん、藤田悦子さん、薄井忠恵さんから渡された花の苗は、今後、各学校の児童の皆さんによって、大切に育てられます。



馬頭東小学校



小川小学校



第3回那珂川町消防操法大会

6月3日、小川運動場にて第3回那珂川町消防操法大会が開催されました。各消防団を代表して出場した選手の皆様は、4月から毎週のように練習を繰り返した成果を遺憾なく発揮し、消防機器の操作の正確さやタイムを競い合いました。

大会結果は次のとおり。上位2チームは、6月24日に大桶運動場(那須烏山市)で開催された南那須地区大会に町代表として出場しました。
小型ポンプ操法の部(18チーム)
優勝 第2分団第3部(大内)
準優勝 第5分団第3部(浄法寺)
ポンプ車操法の部(12チーム)
優勝 第1分団第6部(矢又)
準優勝 第3分団第2部(小砂)



小川南小学校運動会

素晴らしい晴天に恵まれた6月2日、小川南小学校で運動会が開催されました。児童の皆さんは「あきらめずにチームワークでかちすめ」のスローガン下、日頃の練習の成果を存分に発揮しました。特に力を入れて練習を重ねたという全校児童による組体操では、ピラミッドなどの大技にも挑戦し、びったりと息の合った演技を披露しました。二つの技が決まった際に、応援に駆け付けた家族や招待された地元の方などから盛んに拍手が送られていました。

温泉トラフグ技術講習会

那珂川町温泉トラフグ共販会の主催で「温泉トラフグ技術講習会」が6月12日、健康管理センター調理室で行われました。町内の旅館や飲食店の調理人など約10名が参加し、身欠き(皮や内臓など毒を持つ部分を除去する作業)した温泉トラフグのおろし方や調理を学びました。参加者はフグ刺しを器の模様が美しく透けるように薄造りにする講師の手元を真剣に見入っていました。温泉トラフグは那珂川町内の飲食店や旅館で楽しめますが、いずれも3日前までに予約が必要とのこと。温泉トラフグ取り扱い店舗は、町のホームページで確認できます。



森林資源(木質バイオマス)の
フル活用を目指して

馬頭東中学校跡地に建設され、今年4月に稼働を開始した県北木材協同組合那珂川工場の現地視察研修会・意見交換会が6月8日に開催され、県内の森林事務所や森林組合など関係者約100名が参加しました。

那珂川工場は、年間4万m³の丸太を消費できる国産材の製材工場で、林業・木材産業の活性化につながる拠点として期待が寄せられています。視察後の意見交換会では、木質バイオマスを有効に活用するための課題や対策などについて活発な意見が交わされました。



那珂川満喫歩け歩け大会

だれでも参加できるウォーキングで町民のスポーツ推進を図ろうと「第9回那珂川満喫歩け歩け大会」が6月17日、小川総合福祉センターを発着点に開催されました。

朝のうちは時折雨が残る天候でしたが、ファミリー(6キロ)、さわやか(9キロ)、チャレンジ(13キロ)の3つのコースに、幼児からお年寄りまで合計約250名が参加しました。参加者の皆さんは、那珂川沿いの堤防を歩いたり、ふるさと森公園やまほろばキャンプ場に立ち寄り、心地よい汗を流していました。



盛谷なごみの里公園
ポピー祭り

ボランティア盛谷協議会主催のポピー祭りが6月2日、盛谷なごみの里公園(盛泉野合地区)で開催されました。イベント会場には、協議会会員等による焼きそばや焼き鮎、つきたての餅などの模擬店が並び、アトラクションとしてフラダンスや「那珂川ゆめつ」によるよさこい踊りなどが披露されました。町内外から多くの家族連れなどが訪れ、色鮮やかに咲くポピーの花をバックに写真を撮ったり、お土産にと花を摘んだりしていました。